

気管支肺胞洗浄液・胸水を用いたびまん性肺疾患・胸膜疾患の病態解明及び予後の検討

1. 観察研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。患者さんの生活習慣や検査結果、疾病への治療の効果などの情報を集め、これを詳しく調べて医療の改善につながる新たな知見を発見する研究を「観察研究」といいます。その一つとして、九州大学病院呼吸器科では、現在びまん性肺疾患、胸膜疾患の患者さんを対象として、気管支肺胞洗浄液・胸水を用いたびまん性肺疾患・胸膜疾患の病態解明及び予後の検討に関する「観察研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2026年6月30日までです。

2. 研究の目的や意義について

びまん性肺疾患は特発性間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシス、薬剤性肺炎、放射性肺炎といった様々な病気の総称です。胸膜疾患はがん性胸膜炎、膠原病関連胸膜炎、肺炎随伴胸膜炎といった病気の総称です。いずれも発症の詳しい原因が未だに分かっていません。

そこで、今回呼吸器科では、びまん性肺疾患や胸膜疾患の病態を解明することを目的として、本研究を計画しました。本研究を行うことで、びまん性肺疾患や胸膜疾患の病態が判明し、より正確な診断が行えるようになる可能性があります。

3. 研究の対象者について

九州大学病院呼吸器科において2017年1月1日から2024年3月31日までにびまん性肺疾患や胸膜疾患の診断で気管支肺胞洗浄検査または胸水検査を受けられた方のうち、180名を対象にします。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。また、保管されている気管支肺胞洗浄液・胸水の残余検体中のRNA・タンパク質発現量を、様々な手法（フローサイトメトリー解析、マスサイトメトリー解析、RNAシーケンス解析、プロテオミクス解析）を用いて解析します。測定結果と取得した情報の関係性を分析し、びまん性肺疾患、胸膜疾患の病態解明を目指します。

〔取得する情報〕

年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、主病名、併存疾患

血液検査結果（CBC、白血球分画、AST、ALT、LDH、 γ GTP、BUN、Cre、CRP、KL-6、SP-A/D、ACE、sIL-2R、抗核抗体、抗SS-A抗体、抗SS-B抗体、抗セントロメア抗体、抗RNP抗体、抗PolIII抗体、抗CCP抗体、抗Scl-70抗体、抗ARS抗体、抗MDA5抗体、抗トリコスポロン抗体、抗トリ抗体）

画像所見（胸部X線、胸部CT）細胞学的所見、肺機能検査

原疾患が腫瘍である場合、腫瘍の病理検査結果や病期、抗腫瘍治療内容
治療経過・予後

5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者の気管支肺胞洗浄液、胸水、測定結果、カルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野・教授・岡本 勇の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

6. 試料や情報の保管等について 〔研究計画書14.研究終了後の試料・情報の保管等〕

〔試料について〕

この研究において得られた研究対象者の血液や病理組織等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野・教授・岡本 勇の責任の下、5年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

〔情報について〕

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野・教授・岡本 勇の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の試料や情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要

項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は部局運営経費・講座寄付金であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院呼吸器内科 九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野 九州大学生体防御医学研究所 個体機能制御学部門 免疫遺伝学分野
研究責任者	九州大学病院 呼吸器内科 助教 坪内和哉
研究分担者	九州大学大学院医学研究院 呼吸器内科学分野 助教 大坪孝平 九州大学病院 呼吸器内科 助教 高野智嗣 九州大学病院 呼吸器内科 医員 秦兼太郎 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 呼吸器内科学分野 大学院生 中津留広成 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 呼吸器内科学分野 大学院生 中村聡 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 呼吸器内科学分野 大学院生 中川泰輔 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 呼吸器内科学分野 大学院生 山本凱大 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 呼吸器内科学分野 大学院生 武田恵介 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 呼吸器内科学分野 大学院生 秋山元太 九州大学生体防御医学研究所 学際生命科学部門免疫遺伝学分野 特別主幹教授 福井宣規 九州大学生体防御医学研究所 学際生命科学部門免疫遺伝学分野 准教授 國村和史 九州大学大学院医学系学府 医学専攻 免疫遺伝学分野 大学院生 森野健児 九州大学生体防御医学研究所 分子機能制御学部門免疫ゲノム生物学分野 教授 馬場義裕

10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 担当者：九州大学病院 呼吸器内科 助教 坪内和哉

(相談窓口) 連絡先：〔TEL〕092-642-5378

〔FAX〕092-642-5382

メールアドレス：tsubouchi.kazuya.442@m.kyushu-u.ac.jp